

第2章 対象事業の内容

第2章 対象事業の内容

2.1 対象事業の種類

独立行政法人水資源機構が行うダム新築事業

2.2 対象事業実施区域の位置

対象事業実施区域の位置は、筑後川水系小石原川及び佐田川の福岡県朝倉市内並びに筑後川水系小石原川の同県朝倉郡東峰村内で、図 2-1～図 2-3 に示す通りである。

2.3 対象事業に係るダムの堤体の形式

ロックフィルダム

2.4 対象事業の規模

貯水面積 : 120ha (洪水時最高水位^{※1}における貯水池の区域の面積)

2.5 対象事業の総貯留量

総貯留量 : 約 40,000,000m³

有効貯留量 : 約 39,100,000m³

2.6 対象事業に係るダム堤体の規模

集水面積 : 20.5km²

堤高 : 139m

堤頂長 : 550m

堤頂標高 : 標高 359.0m

洪水時最高水位 : 標高 353.0m

最低水位^{※2} : 標高 279.3m

2.7 対象事業の工程

年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
工事の種類									
転流工									閉塞
堤体工事	基礎掘削								
	基礎処理・盛立								
	洪水吐								
	放流設備								
仮設備	工事用道路		迂回路						
導水施設									
管理設備									
補償	国道付替								
	林道付替								
	用地補償								
試験湛水									

※¹ 洪水時最高水位：ダムの計画において洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高水位で、ダム非越流部の直上流部におけるものをいう。

※² 最低水位：貯水池の運用計画上の最低の水位



図 2-1 対象事業区域の位置 (1)

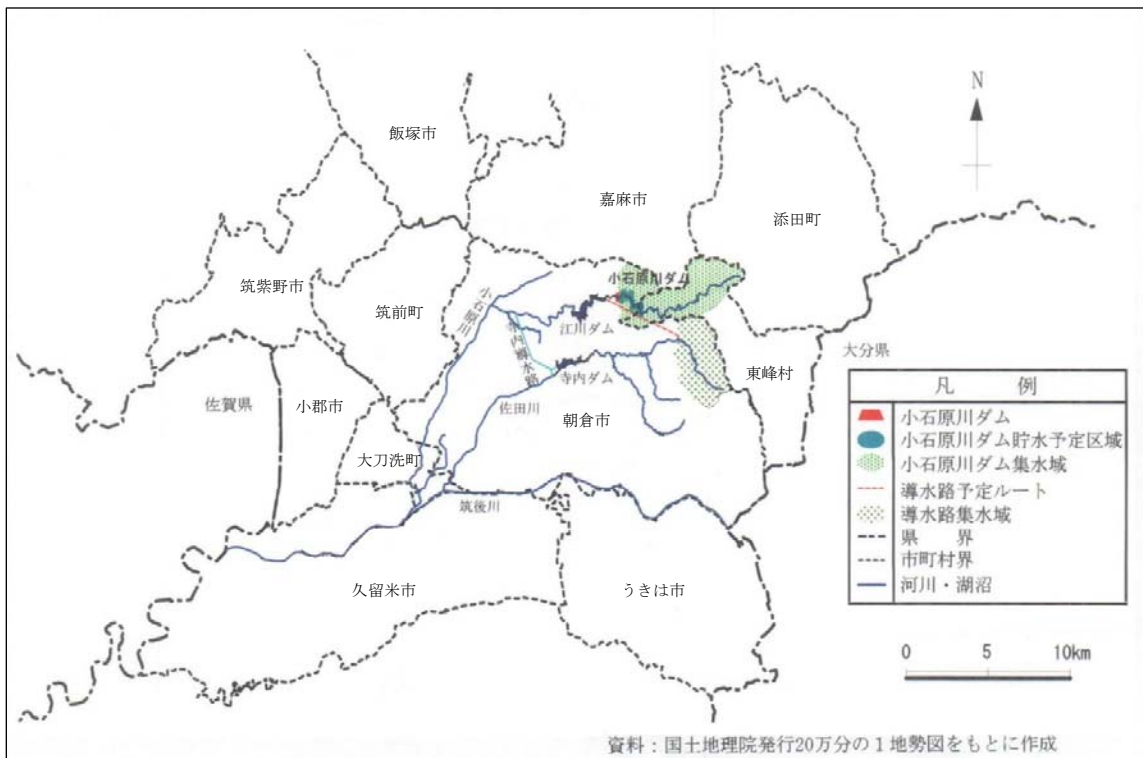
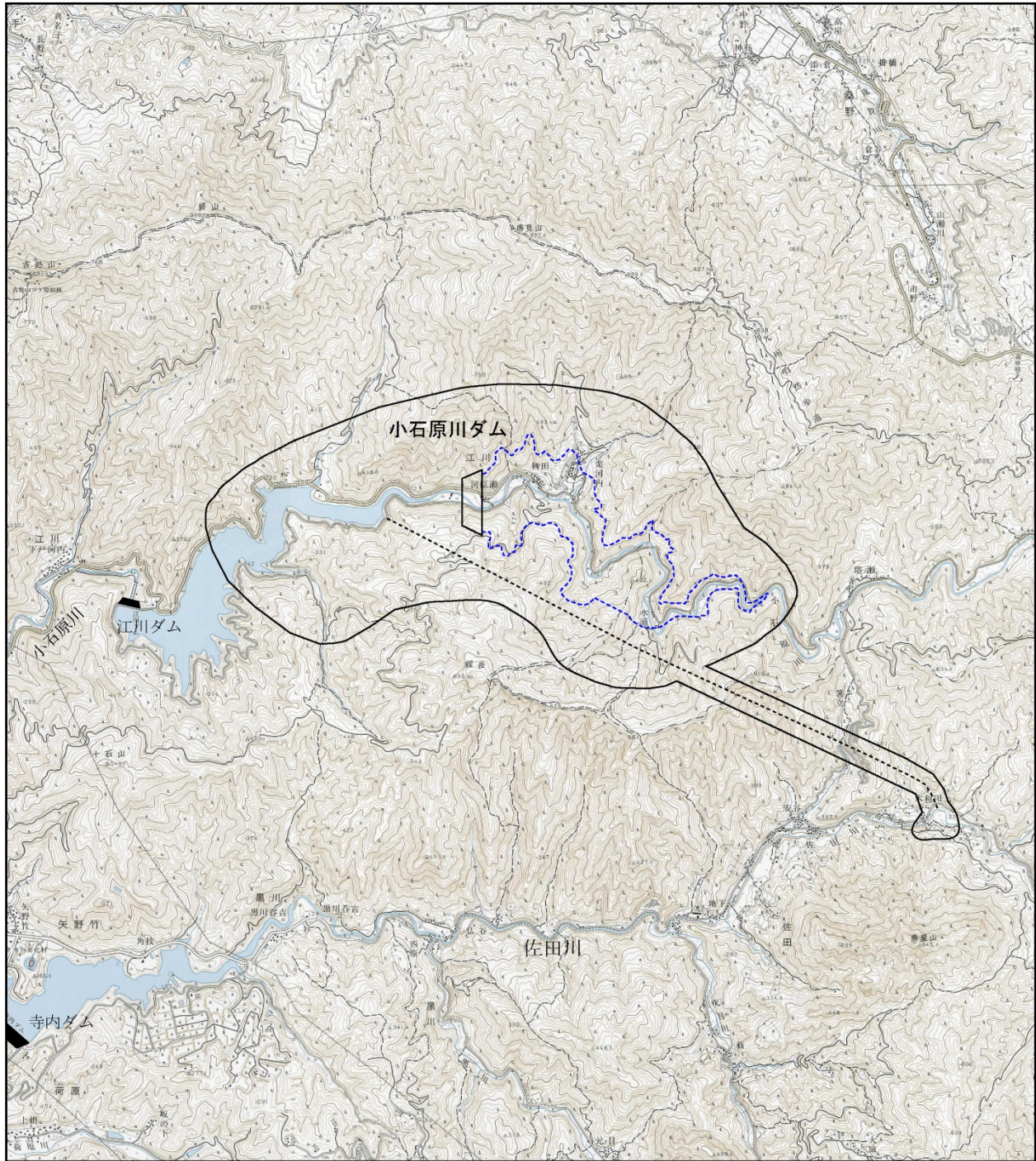






図 2-2 対象事業区域の位置 (2)



-  : 対象事業実施区域
-  : ダム堤体
-  : 貯水予定区域
-  : 導水路予定ルート

注) 対象事業区域とは、ダムの堤体、導水路施設（取水工及び導水路）、原石山、施工設備、工事用道路、建設発生土処理場、付替道路や貯水池の設置を予定している箇所を包括する最大の範囲であり、この区域の一部に於いて工事を実施し、ダム等を供用する。



S=1:50,000



図 2-3 対象事業区域の位置 (3)